

国立大学図書館協会地区協会助成事業 実施報告書

地区名	東京地区（主担当大学：東京工業大学）
事業名	職員研修企画 「ユーザーに届く図書館広報」
事業目的・趣旨	<p>東京地区国立大学の職員により、以下のとおり研修を企画し実施する。</p> <p>【目的】 掲示、展示、Web、SNS など多様なツールを使って、図書館はユーザーへ絶えずメッセージを送っている。しかし「伝えたい人に、伝えたいことが、思うように伝わらない」のが、現場の大きな悩みである。ユーザーへ確実に伝える広報のコツを、エキスパート・先達から学び、従来の図書館のイメージを刷新する、新たな図書館広報のあり方を模索する。</p> <p>【研修趣旨】 この研修では、講演・事例・実習の3方向から「広報」を考え、実践への活用につなげることを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 【導入】 【講演】 編では、大学図書館における広報の基本・最近の動向、図書館空間を活かした演出について、その考え方と技法を学ぶ。 ● 【事例】 編では、各大学で取り組まれている取組について、話題提供し、その経験を共有する。 ● 【実習】 編では、【講演】 編での技法、【事例】 編で挙げられた取組み事例を参考にグループワークを行い、「ユーザーに届く図書館広報」のアイデア、計画について検討し成果を得る。
実施内容	<p>実施日 : 平成29年2月14日（火）</p> <p>実施場所 : 東京工業大学博物館・百年記念館1階ラーニング&インフォメーションコモンズ</p> <p>研修参加者：27名</p> <p>【プログラム】</p> <p>10:00-10:30 受付</p> <p>10:30-10:35 開会挨拶</p> <p>10:35-11:00 【導入】 大学図書館で広報が課題になり続けるのはなぜ？ 講師：森いづみ氏（お茶の水女子大学図書・情報課長）</p>

	<p>11:00-12:00 【講演】人と情報をつなぐ空間-図書館を演出する- 講師：尼川ゆら氏</p> <p>12:00-13:00 ランチミーティング（任意参加）</p> <p>13:00-13:40 【事例報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筑波大学附属図書館における映像を活用した広報の事例紹介 講師：廣田直美氏（筑波大学学術情報部アカデミックサポート課） ・広報に笑いを-京都大学農学部図書室の Facebook 活用事例- 講師：小松原記子氏（京都大学北部構内教務・図書課） <p>13:40-15:45 【実習】グループワーク（含む休憩）</p> <p>15:45-16:30 【実習】グループワークの成果発表</p> <p>16:30-16:45 講評</p> <p>16:45-17:00 閉会挨拶</p> <p>17:00-17:20 東京工業大学附属図書館見学（任意参加）</p> <p>17:30- 情報交換会（任意参加）</p> <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入 お茶の水女子大学図書・情報課長の森いづみ氏に講演いただいた。まず、アイスブレイクも兼ねてアンケートツール「imakiku」による参加者アンケートが行なわれ、大学図書館で広報が課題になり続ける理由を全体で共有した。その後、広報の定義、広報戦略のポイント、その戦略を考えるための「6W2H」と「ACTION フレームワーク」について学んだ。また、参考資料として、『LRG：ライブラリー・リソース・ガイド』No.15, 2016. 6』を配付した。 ・講演 空間演出コンサルタントの尼川ゆら氏より、空間における広報について講演いただいた。講演では、目的・相手（利用者の視点）・自分（受け入れる側の視点）を知ることから始まり、空間の目的の把握、マイナス要素の除去、目線を考慮した情報提供の仕方、識別しやすく雰囲気を生み出すような色づかいが、空間を演出することを学んだ。
--	--

	<p>・事例報告</p> <p>筑波大学学術情報部アカデミックサポート課の廣田直美氏から、筑波大学附属図書館の映像活用事例について、京都大学北部構内教務・図書課の小松原記子氏から、京都大学農学部図書室の Facebook 活用事例について、それぞれ報告いただいた。</p> <p>・実習</p> <p>研修会場を新たに新設されたラーニング・コモンズと仮定し、学生を主とするユーザーにラーニング・コモンズをアピールするための広報案を企画するグループワークを行った。研修参加者は空間班・映像班・SNS 班に分かれ、それぞれの広報手段を活かした広報案を検討した。グループワーク中、空間班では、尼川ゆら氏とともに研修会場を利用者目線で見えてまわり、効果的な広報の場を探すワークも行ない、その結果をもとに空間を活用した広報案を考えた。映像班では廣田直美氏が、SNS 班では小松原記子氏が、各班で出た広報案について適宜アドバイスを行った。また、研修企画委員のメンバーも各班のファシリテーターとしてグループワークに参加した。最後に班ごとに広報案のアイデア、計画を発表し、実践への活用につなげることを目指した。</p>														
<p>事業の成果 (アンケート調査結果、事業への意見・感想等)</p>	<p>【アンケート調査結果の抜粋】</p> <p>有効回答数：28名（参加者27名，講師1名）</p> <p>本研修に期待していた内容に合っていましたか？</p> <table border="1" data-bbox="483 1319 1171 1861"> <thead> <tr> <th></th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期待通りだった</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>おおむね期待通りだった</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>どちらでもない</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>期待した内容とほとんど違っていった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>期待した内容と全く違っていった</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table>		回答数	期待通りだった	19	おおむね期待通りだった	9	どちらでもない	0	期待した内容とほとんど違っていった	0	期待した内容と全く違っていった	0	合計	28
	回答数														
期待通りだった	19														
おおむね期待通りだった	9														
どちらでもない	0														
期待した内容とほとんど違っていった	0														
期待した内容と全く違っていった	0														
合計	28														

	<p>本研修で今後の業務に役立つことを学びましたか？</p> <table border="1" data-bbox="481 309 1139 622"> <thead> <tr> <th data-bbox="481 309 968 389"></th> <th data-bbox="968 309 1139 389">回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="481 389 968 468">はい</td> <td data-bbox="968 389 1139 468">28</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 468 968 546">いいえ</td> <td data-bbox="968 468 1139 546">0</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 546 968 622">合計</td> <td data-bbox="968 546 1139 622">28</td> </tr> </tbody> </table> <p>(「はい」と答えた方のみ)</p> <p>具体的にどういった業務に役立つと思われますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラーニングコモンズを実際に改善してみよう、利用者目線で捉え直してみようと思いました！ ・日頃の SNS 更新や、カウンター周辺のレイアウトなど、すぐに見直せることがあると思いました。 ・他のスタッフや上司に広報の企画のコンセプトを伝えるときに、どの様に整理して伝えればよいのか明確になりました。 <p>本研修で印象に残ったこと・感想を記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者目線で見るとということ、学内の執行部等の目線で見るとということ、図書館員としての目線で見ることが大切なことであるということです。 ・グループワークなどでキャラクターがたくさん登場したことを受け、効果的な広報にキャラクターの力が侮れないと感じました。利用者に興味を持ってもらう取っ掛かりとしても、そういった「柔らかい」取り組みも必要なのかなと感じました。 ・初めて来る人へと日常的に使っている人とでは伝わり方が異なると思うが、同じ空間でどうするかをもう少し議論してみたかった。 ・バラエティーに富みいい研修だった。 		回答数	はい	28	いいえ	0	合計	28
	回答数								
はい	28								
いいえ	0								
合計	28								
経費	<table border="0" data-bbox="481 1585 928 1765"> <tr> <td>講師謝金・旅費</td> <td>127,166 円</td> </tr> <tr> <td>会議費</td> <td>5,932 円</td> </tr> <tr> <td>雑費</td> <td>11,902 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>145,000 円</td> </tr> </table>	講師謝金・旅費	127,166 円	会議費	5,932 円	雑費	11,902 円	合計	145,000 円
講師謝金・旅費	127,166 円								
会議費	5,932 円								
雑費	11,902 円								
合計	145,000 円								